

# 第5回施設系混雑WG アジェンダ

○令和3年3月30日（火） 17時30分～19時00分 WEB開催

1. 今年度WG活動の総括
2. 令和3年度の取組予定
3. パートナー企業の募集について
4. 混雑情報カタログ化について

# 【今年度総括】 施設系混雑WGの目的と取組内容

## 目的

- 混雑領域におけるデータ利活用の具体的な取組を想定し、部分的に実施することを通じてDPFでのデータ流通検討の一助とする
- 関係者と連携し、取組を実際に実施し、適宜継続することで、**「with コロナ」時代の3密回避に寄与する**

## 取組内容

### ①課題・取組検討

- 「with コロナ」時代の3密回避に寄与する上での、**データ流通にかかる課題とその解決に資する取組の方向性**を検討

### ②運用ルール等の検討

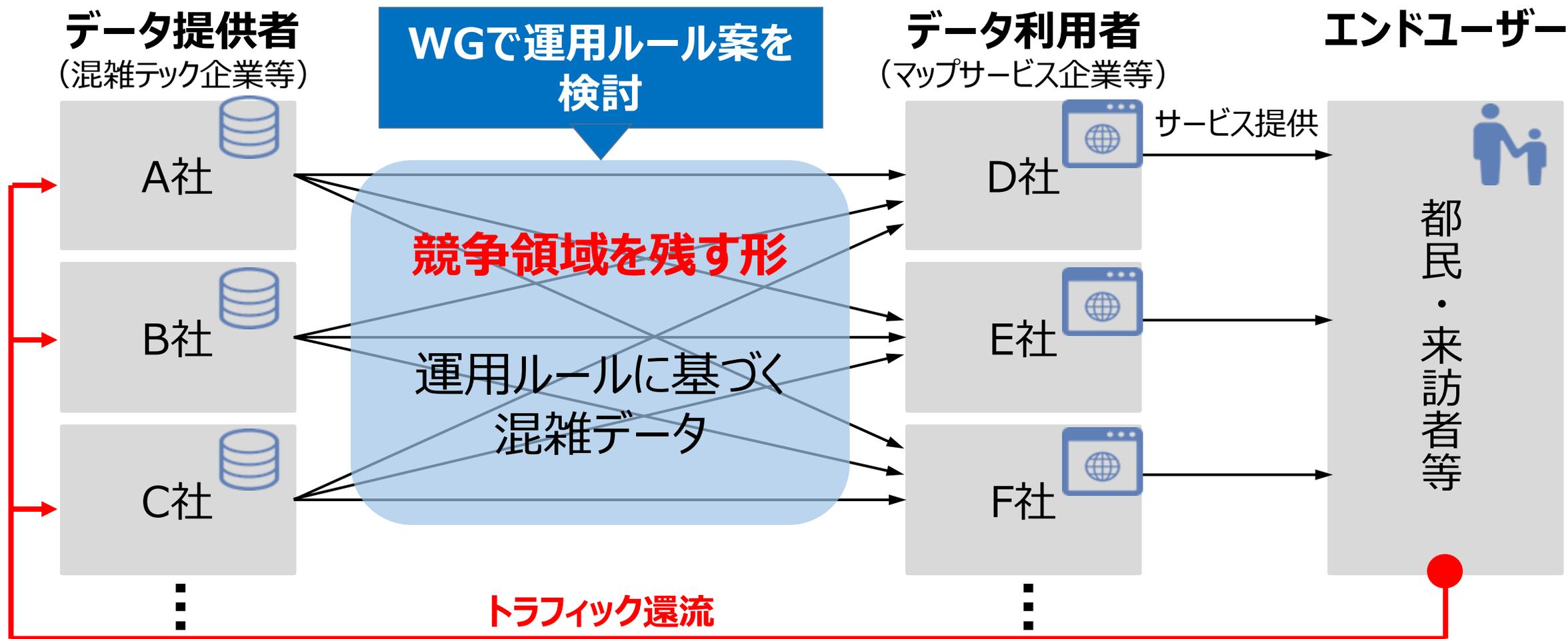
- 混雑データ利活用の取組を実現するための**運用ルール等の検討・すり合わせ**

### ③実施・ルール改善

- **実現性の検証や運用ルール等を絶えずブラッシュアップ**することで、**3密回避に寄与**

# 【今年度総括】ファーストステップ 活動イメージ

ご参画いただける方々を広く募集し活動を展開



将来的には、データ提供者・利用者間のデータ流通を促進するAPI構築を予定

# 【今年度総括】ファーストステップにおける運用ガイドライン①

項目	1 <sup>st</sup> ステップでの運用ガイドライン
混雑の定義	<b><u>現時点では定めず、引き続きWGにおいて議論する</u></b> (国の動向を注視しつつ、DPF稼働までに定義を確定させる)
表示方法	<b><u>データ利用各社の表示方法に委ねる</u></b> (利便性の観点より、WGとして推奨表示を提示)
必要最小限のデータ	(1) データホルダー名 (2) 施設・店舗名 (3) 混雑情報 (4) 緯度経度 (5) 更新日時 (6) 電話番号 (7) 戻しリンクURL (8) リソース内容一覧
対象施設	<b><u>特に定めず利用者側が自由に選択する</u></b> (例：生活関連施設/飲食店・スーパー等、都有施設等)

続く

# 【今年度総括】ファーストステップにおける運用ガイドライン②

項目	1 <sup>st</sup> ステップでの運用ガイドライン
データ形式	<u>特定の形式に定めない</u> （利活用できる形式が前提）
データ更新頻度	<u>15分以内</u> の情報とする（概ね10分程度を想定）
二次利用の許容範囲	1 <sup>st</sup> ステップにおいては <u>地図上もしくは施設情報の一部として疎密状況を表示する範囲</u> での活用とする
データの保証	<u>都では保証は行わない</u> （データ提供者の質を担保できる公募条件を検討中）
その他遵守事項	データ利用者側サービスにおいて提供者の混雑情報が表示される都度、 <u>データ提供者への戻しリンクを設置する</u>

## ファーストステップ協力企業の公募を行い、下記企業と連携協定を締結

### データ 提供者

- 株式会社unerry
- 株式会社ロコガイド

### データ 利用者

- エヌ・ティ・ティレゾナント株式会社
- 株式会社ゼンリン



協定締結式の様子  
(令和2年12月1日開催)

# 【今年度総括】ファーストステップの活動報告（サービス実装）

サービス  
スキーム

ロコガイド

混雑データを提供

NTTレゾナント

- 実際の混雑情報を3段階で表示
- 都内約4千店の情報  
(スーパーやドラッグストアなど)

都民



サービス  
イメージ



# 【関連事業】 都の窓口・施設84か所の混雑可視化を実施

- 都の窓口・施設における民間事業者のサービスを活用した混雑緩和の取組を東京都と株式会社ロコガイドが共同で実施

(令和2年12月1日締結「施設系混雑ワーキンググループに係る包括連携協定」第2条第1項に基づき、実施)

- ロコガイドの「混雑ランプ」により、都の各局等及びロコガイドのホームページで、都の窓口等84か所の混雑状況を3段階で表示 (令和3年3月19日に報道発表)
- 令和3年3月23日までに81か所の窓口等に導入。一部施設等における休止期間終了後に、3か所をさらに追加予定



## 活動① 混雑情報の 利用価値向上活動



活動①-1  
混雑情報と他のデータの掛け合わせ

活動①-2  
混雑情報のニーズ吸い上げ・利用者開拓

## 活動② 混雑情報の 流通促進活動



活動②-1  
混雑情報の一覧化

活動②-2  
混雑情報の流通最大化のためのルール整備

# 【混雑WG活動①-1】 混雑情報と他のデータの掛け合わせ

## 活動①

### 混雑情報の利用価値向上活動

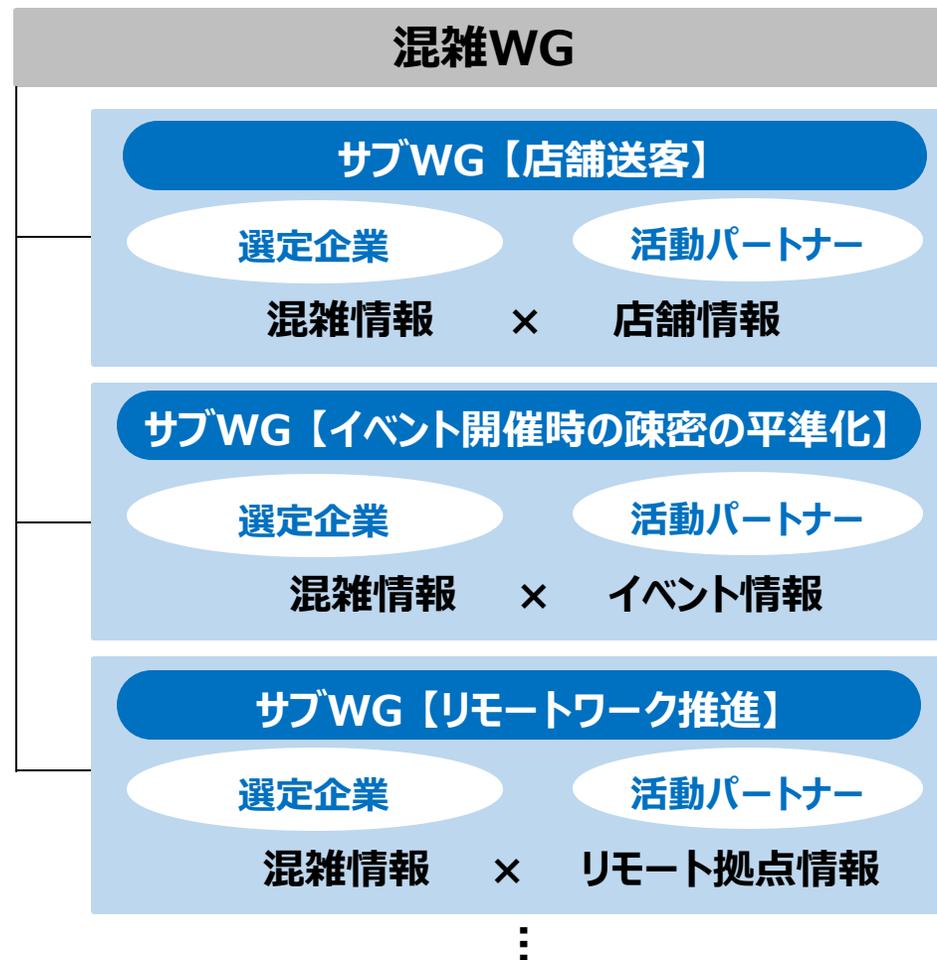
#### 活動①-1

### 混雑情報と他のデータの掛け合わせ

#### 今後の予定

- 掛け合わせアイデア（活動パートナー企業）の募集（第5回WGでアナウンス；令和3年度募集）
- サブワーキンググループとして活動（令和3年度）
- R3年度に実施するケーススタディ事業との連動

#### 活動例



# 【報告】 新たな協定締結先の決定

## 協力企業公募※（セカンドステップ）を行い、下記事業者と協定締結

3 密回避など公益性に資する活動に加え、疎密データ等の発展的な利活用を実施

株式会社unerry（東京都千代田区）

エヌ・ティ・ティレゾナント株式会社（東京都港区）

株式会社バカン（東京都千代田区）

株式会社MYCITY（東京都千代田区）

株式会社ロコガイド（東京都港区）

※公募期間：令和3年2月22日～令和3年3月 8日

協定期間：令和3年4月 1日～令和4年3月31日

# 【来年度の取組】 混雑情報の利用価値向上活動 サブWG

サブWG

選定企業

活動パートナー

混雑情報

×

●●情報

混雑情報保有企業

unerry

バカン

MYCITY

ロコガイド

- ・協定締結企業のうち、混雑データ保有企業とサブWGの活動ケース（案）を検討済
- ・令和3年度、パートナー企業を募集し、ケース（案）を深堀するとともに、サブWGの活動を行う予定

ケース（案）

人流データ・IoTセンサーを活用した、混雑分散が可能な「モデルシティ」ケース（環境知能の世界）創出

- ①混雑データ×スペースシェアリング事業の検証
- ②混雑データ×メンテナンス事業者との協業検討

New Normal下における働き方のデータを用いた検証

流通小売店舗等の来店状況（混雑情報）の拡張活用検討

unerry

## 人流データ・IoTセンサーを活用した、混雑分散が可能な「モデルシティ」ケース（環境知能の世界）創出

- 地下・ビル内のセンシングにより、「ピンポイント天気予報混雑版」をユーザーに提供し、一定のエリア単位で混雑分散を図る。
- 「モデルシティ」では、アプリ等を通じ、プッシュ通知などによる自動レコメンドにより、混雑を避けて飲食やお買い物ができる。
- 地下街でのセンシングデータを活用し、浸水時の避難シミュレーションなど、公益性に資する利活用の可能性を検討する。

令和3年度末の  
ゴールイメージ

「ピンポイント天気予報混雑版」について精度検証を行い、モデルシティを訪れる人々が、新たな消費者体験を享受。

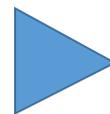
想定パートナーと  
期待する役割

鉄道事業者、ビル管理を行う事業者、テナント、決済データ保有事業者 等  
センサー設置協力、予測向上のためのデータ提供（時間帯別決済数・詳細乗降者数など）

イメージ図



混雑データ×詳細乗降者数、決済データ等



「ピンポイント天気予報混雑版」で快適なライフを実現

## バカン①

## 混雑データ×スペースシェアリング事業の検証

- カフェ等の座席を、混雑データ及びスペースシェアリングシステムを用いて予約可能にし、稼働率改善しつつデータ集積する  
→単純な予約ではなく「席そのものに価値を付与」することで、ビジネスや社会課題解決の手段として確立する
- カフェのバリアフリー席の確実な確保や、従来は活用しえなかった都立施設の稼働促進を期待  
→新たなオフィスでの利用も検討

令和3年度末の  
ゴールイメージ

想定パートナーと  
期待する役割

- 複数の施設において実証実験が完了、本格導入に向けた検討が進捗
- 更なる情報追加による価値向上や用途拡大を目指しパートナー企業が集結
- 多店舗展開企業（混雑センサー & スペースシェアリング実証場所の提供）
- 店舗データ（人流以外）保有企業（更なる情報掛け合わせによる価値向上）

イメージ図



## バカン②

## 混雑データ×メンテナンス事業者との協業検討

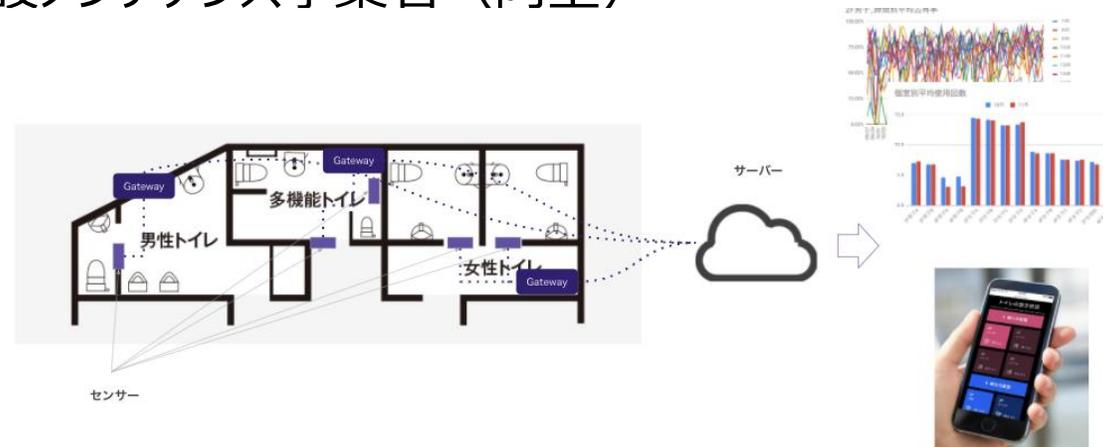
- トイレ等の利用状況をデータで把握し、メンテナンス（清掃）サイクル最適化・コスト削減効果を期待
- 本庁や都立施設のメンテナンスコスト最適化を期待

令和3年度末の  
ゴールイメージ

想定パートナーと  
期待する役割

イメージ図

- 複数の施設において実証実験が完了、本格導入に向けた検討が進捗
- 更なる情報追加による価値向上や用途拡大を目指しパートナー企業が集結
- ビルメンテナンス事業者（メンテナンスサイクル最適化の実証パートナー）
- 都営施設メンテナンス事業者（同上）



## MYCITY

## New Normal下における働き方のデータを用いた検証

- オフィス内活動を把握することで、リモートワーク下での快適性・生産性・経済性を追求したレイアウト・運用・コミュニケーションの新しいあり方を検証
- 適切なレイアウトおよびワークスペースの運用を検証  
リモートワーク下の社内コミュニケーション不足による長期的な生産性低下リスクの最小化を検討

令和3年度末の  
ゴールイメージ

New Normalにおいて快適性・生産性・経済性を追求したワークスペースの新しいあり方のプロトタイプと定量データを提示

想定パートナーと  
期待する役割

- 実証フィールド提供企業
- 設計・内装デザイン会社
- 不動産ディベロッパー ・ HRテック企業

イメージ図



ビーコン・センサーを活用したオフィス内活動の把握・分析



快適性・生産性・経済性を追求したレイアウト・運用・コミュニケーションの新しいあり方を提示

## ロコガイド

## 流通小売店舗等の来店状況（混雑情報）の拡張活用検討

- 店舗の来店状況（混雑情報）に +a、×a の情報を提供して、
  - ① 店舗利用者の利便性をあげる
  - ② 店舗サービスのアップ（例：閑散時期の集客）を目指す
- 都民に対する密回避のためのシンプルな疎密情報の提供だけでなく、+a情報を付加することでデータ活用による利便性向上の体験

令和3年度末の  
ゴールイメージ

実際のサービスとしての提供開始と利用者および利用店舗の評価実施

想定パートナーと  
期待する役割

- 流通小売店舗（実証フィールドの協力）
- 店舗誘導ソリューション企業/消費者接点を持つ企業
- +a、×aのアイデアもしくはデータ提供企業

イメージ図



混雑状況

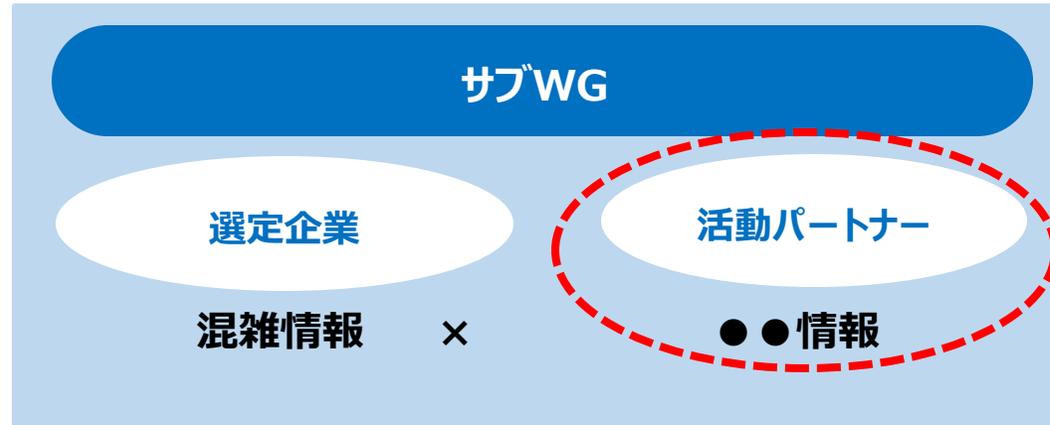


店舗マーケティング



来店促進（予約対応、クーポン発行など）

# パートナー企業の募集について（事前告知）



## ● 活動パートナー企業の募集（令和3年4月～）

- 個別ケースについて、自社ソリューションや保有データの提供など、サブWGに主体的に参画可能なパートナー企業を募集予定
- 募集の詳細については令和3年4月以降、都のHPなどに掲載予定

# 【再掲】 来年度の混雑WGの活動 全体像

## 活動① 混雑情報の 利用価値向上活動



活動①-1  
混雑情報と他のデータの掛け合わせ

活動①-2  
混雑情報のニーズ吸い上げ・利用者開拓

## 活動② 混雑情報の 流通促進活動



活動②-1  
混雑情報の一覧化

活動②-2  
混雑情報の流通最大化のためのルール整備

## データの流通促進に向け、混雑情報のカタログ化を実施

- ・下記フォーマットをもとにアンケートを行い、WGの成果として公表を予定
- ・カタログ取りまとめ後、ルール整備等についても実施予定

質問	回答方式	回答						
社名	記述							
回答者	記述							
連絡先	メールアドレス	***@****						
サービス名	記述							
データ取得方法	左記より選択	人による申告 (ボタン方式)	カメラ	センサー (ビーコン)	センサー (WiFi)	センサー (その他)	その他手法	
	該当にすべて✓→						(自由回答)	
サービスの 特徴	自由回答	(アピール点など)						
主要導入 施設	左記より選択	飲食店舗	流通店舗	公共施設	企業オフィス	イベント会場	エンタメ施設	その他
	該当にすべて✓→							自由回答
混雑状況表示 方法	左記より選択	シグナル表示 (段階表示)	カウント数 表示	映像表示 (ダミー含む)	その他			
	該当に✓→				(自由回答)			
混雑判定の閾値	自由回答	(東京都以外には非公表をご希望の場合はその旨記述ください。)						

# 今後のスケジュール（令和3年度）

- **活動パートナー企業の募集（4月～）**
  - 都HP等で、募集詳細などについてお知らせする予定
  - 今年度WG参加者にメール等でご案内予定
- **個別ケースについて、取組の開始（5月～）**
  - パートナー企業決定後、
  - 今年度WG参加者にメール等でご案内予定
- **令和3年度第1回WGの開催（5月下旬を予定）**
  - 個別ケース（サブWG）の活動状況報告
  - 混雑情報のカタログ公開予定